

ストレプトマイセス・アーヴァーミチリス由来の α -ラマンシダーゼ 78A、組換え型

Cat. No. NATE-1510

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	熱安定性のアルファ-L-ラムノシダーゼ（ナリンギナーゼ、RhamA）は、末端のL（+）-ラムノースとラムノース含有グリコシドのアグリコンとの間の結合を切断する触媒です。この酵素はナリンギンに \square して非常に活性が高いですが、ヘスペリジンを基質としてもかなりの活性を示します。
別名	グリコシド加水分解酵素; RhamA; ナリンギニナーゼ; ヘスペリジナーゼ; α -L-ラムノシダーゼ A; α -L-ラムノシダーゼ N; α -L-ラムノシドラムノヒドロラーゼ; EC 3.2.1.40

製品情報

種	ストレプトマイセス・アーヴァーミチリス
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1.40
CAS登録番号	37288-35-0
分子量	115 kDa
純度	>SDS-PAGEによる評価で90%
濃度	1 mg/mL
最適pH	5
最適温度	40 °C
特異性	装飾されていないラムノガラクトロン酸

保管・発送情報

保存方法 この酵素は室温で発送されますが、-20 °Cで保存する必要があります。